



やはり、触れ合うこと関わること

学 園 長 小 島 澄 人

誕生会の出来事です。年中組の大きめの男の子を左手で抱きかかえ、「おめでとう」、おろし終わったとたん、「おじいさんなのに凄いね」と、第一声にびっくりしました。確かに重かったのだが、みんなの前で言われたことと、見た目はもうおじいさんなんだ、と少し衝撃でした。正直まだ若いと思っていたが、もう70手前、けどその言葉に内心まだまだだ、まだいけると。その後25人の子どもたちを抱きかかえました。年々子どもたちは大きくなっていきます。発表会の衣装をみると40年前のものはもうほとんどが小さくてサイズが合わないのが現状です。おじいさんでも頑張ります。

子どもたちと触れ合うこと関わること、これが一番です。朝から3時まで休むことなく子どもたちと全力で関わり遊んでいる、先生たちはもの凄いなあ、仕事とはいえ7時間、いやその後、掃除に話し合いが続き、その後自分の仕事があります。もう何時間も頑張っています。体力と気力、それに子どもたちが大好きだからできること、本当にもの凄いです。保育園や他の職業のほとんどが1時間の休憩がありますが、休み時間はありませんしその時間はすべてが子どもとの関わり、頭が下がります。働き方改革、昔と大分変わりましたが、どうしようもないものがあるんです。本当に「子どもがかわいい」、その子どもたちとの触れ合いが先生たちを、その時間を割いても割いても「子どもがかわいい」のです。マスコミが、新聞が「保育園の先生の待遇が低い」と言われますが、「幼稚園の・・・」とは言われません。本当に幼稚園の先生が大変なんです。行政も保育園であり幼稚園よりではありません。本当に幼稚園の先生はもの凄いです。

三歳児の遠足についていきました。昨年は年長の担任の先生が、お昼時子どもたちを見つめ「本当にかわいい、何してもかわいい」とつぶやいていました。その言葉を聞きながら私は「幸せだなあ、こんな先生にかこまれて」、やはり先生は触れ合うこと関わることですね。関わっている先生、素敵です。遠足に行くと、三歳なのでお母さん等に思いっきり甘えていましたが、幼稚園ではもうお友だちとの触れ合いが始まっています。遊び足りないぐらいです。遠足も思いっきり遊び素敵な笑顔の子どもたちでした。

今年度はタケノコの出が悪く残念ですが、さくらんぼが真っ赤に染まりましたが、2,3日で小鳥に食べつくされました。来年からは網をかけなくてははいけないぐらいです。プール横の「万里の藤棚」は素敵でした。保護者の皆さんには見る機会があまりなかったかもしれないが、来年はぜひ見るといいですよ。

